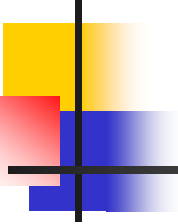




# JAバンク青森の地域密着型金融 の取組状況について(平成22年度)

---

平成23年9月  
農林中央金庫青森支店



---

JAバンク青森(県内10JA, 青森県信用農業協同組合連合会, 農林中央金庫青森支店)では, 農業と地域社会に貢献するため, 平成22~24年度JAバンク中期戦略に基づき, 地域密着型金融の推進に取り組んでいるところであります。

平成22年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので, ご報告いたします。



# 目次

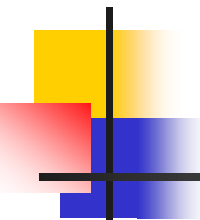
---

**農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援(JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み) … P. 4**

**担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 11**

**経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供 … P. 15**

**農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 18**



---

**農山漁村等地域の活性化のための  
融資を始めとする支援(JAバンクの農  
業メインバンク機能強化への取組み)**



# 農業融資の円滑な取組み

- JAバンク青森は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成23年3月末時点のJAバンク青森の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は50,110百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【資金種類別農業関係資金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末
プロパー資金	39,482
農業制度資金	10,628
農業近代化資金	1,513
その他制度資金	9,115
合 計	50,110

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2. 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

3. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業関係資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末
日本政策金融公庫資金	6,973

(注)

JAバンク青森では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業関係資金残高】

単位 百万円

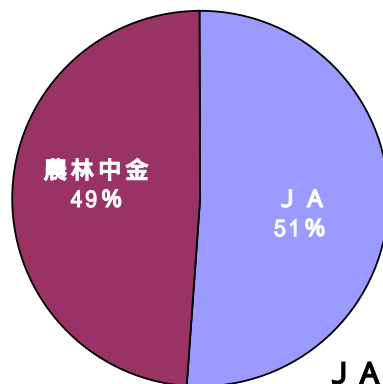
営農類型	平成23年3月末
農業	40,901
穀作	8,905
野菜・園芸	5,380
果樹・樹園野菜	8,470
工芸作物	807
養豚・肉牛・酪農	2,592
養鶏・鶏卵	142
その他農業	14,605
農業関連団体等	9,209
合 計	50,110

(注)

1. 農業関係資金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる営農類型が明確に位置づけられない農業者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金は、  
全てJAバンク青森が取り扱っています。

農業近代化資金 融資残高のシェア



平成22年12月末現在  
出所：農林水産省

JAバンク  
グループ  
100%





## 担い手のニーズに応えるための体制整備

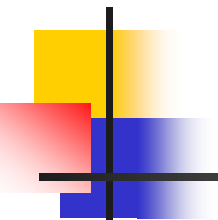
- JAバンク青森では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 県内JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAと農林中央金庫青森支店に計63人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫青森支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」の構築、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



# JA内事業間連携の強化

---

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への合同訪問等により、これまで以上に、事業間連携を強化しています。



---

# 担い手の経営のライフサイクルに 応じた支援

# 新規就農者の支援

- JAバンク青森では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成22年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件, 百万円

	実行件数	実行金額	平成23年3月末残高
就農支援資金	4	17	109

- 平成22年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成することとしています。

# 経営不振農業者の経営改善支援

- JAバンク青森では、農家負担軽減支援特別資金の対応にあたり、地域において特別融資制度推進会議を開催し、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しています。

## 【平成22年度の農業者の経営改善支援取組実績】

	期初経営改善 支援取組先数 A	Aのうち期中に 再生計画を策 定した先数 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランクアップし た先数 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 c	事業計画 策定率 a / A	ランクアップ 率 b / A
正常先	388	0		250	0.0%	
要注意先	200	39	40	131	19.5%	20.0%
要管理先	195	47	23	145	24.1%	11.8%
破綻懸念先	149	15	4	115	10.1%	2.7%
実質破綻先	42	2	2	23	4.8%	4.8%
破綻先	6	0	1	4	0.0%	16.7%
合計	980	103	70	668	10.5%	7.1%

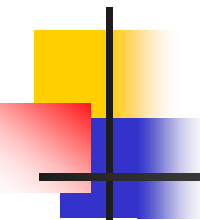
(注) 経営改善支援取組先は、JA・信連・農林中金が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。  
ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

# 講演会・セミナーの開催

- JAバンク青森では、講演会の開催を通じ、県内農業法人との関係強化に取り組んでいます。

【平成22年度 講演実績】

講演名	参加対象者	主催者
「農業金融を取り巻く情勢について」	県内認定農業者	・青森県農業会議 ・青森県農業経営者協会 ・青森県担い手育成総合支援協会 ・農林中央金庫青森支店



---

**経営の将来性を見極める融資手法  
を始め、担い手に適した資金供給手法  
の提供**

# 負債整理資金による経営支援

- JAバンク青森では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成22年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件,百万円

	実行件数	実行金額	平成23年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	10	179	810
畜特資金	4	39	622
負債整理資金	4	13	987
その他	11	22	21
合計	29	253	2,440

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・負債整理資金およびその他は、制度資金以外のプロパー資金(要綱資金・独自資金)による借換資金が該当します。

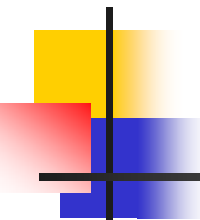




# 農業融資への利子助成の実施

---

- 農業者に対する農機ハウスローン, スーパーS資金等の融資について, 農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い, 農業担い手をサポートしました。
- 平成22年度は県下9JAが融資する1,607件の農業資金に対し, 25百万円の利子助成を行いました。



---

**農山漁村等地域の情報集積を活用  
した持続可能な農山漁村等地域育成  
への貢献**



# 災害などの被災者への支援

---

- JAバンク青森では、災害等の被災者を支援するため、災害対策資金の創設や利子助成等を実施したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。
- また、災害および農産物の価格低迷に対する資金として、6JAで612件、793百万円の融資を行いました。

## 【県内JAによる対策資金】

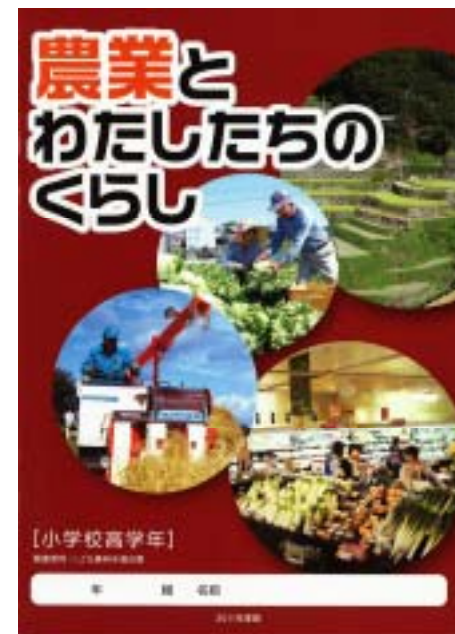
JA名	取組み	内 容
JAつがる弘前	平成22年産米・やさい減収特別対策資金	平成22年産米の概算金の大幅な引下げと大雨, 猛暑等天候不順により米・やさいの品質低下による農業所得減収を補填する目的で組合員に対応した資金。
	平成22年農業経営支援対策資金	平成21年度の長雨, 日照不足の天候不順による品質低下や世界的な経済不況による2ヵ年にわたる農産物価格低迷により悪化した農業経営の維持安定を図るために組合員に対応した資金。
JA津軽みらい	価格下落・天候不順による減収への対応	平成22年産米の概算金の大幅な引下げや夏の異常高温による米の品詞低下および減収への対策として, 低利で対応した資金。
JAごしょつがる	平成22年度高温障害における稲作農家への支援資金	高温障害で稲作減収の被害を受けた組合員に対応した, 市の利子補給を受けた低利の資金で営農継続に必要とする資金。
	平成22年度高温障害における稲作農家への支援資金	高温障害で稲作減収の被害を受けた組合員に対し, 生活資金に対応した低利の資金。

## 【県内JAによる対策資金】

JA名	取組み	内 容
JAつがるにしきた	平成22年産米価格下落，高温障害による収量減収，品質低下対策資金	平成22年産米価格下落，高温障害による収量減少，品質低下による等級下落により，稲作農家の農業経営維持・継続に必要な資金。
JAゆうき青森	平成22年度酪農緊急支援資金	平成22年夏季の猛暑による乳牛の死亡・生産乳量減少および草地の枯死の被害等により，一時的に経営が悪化している農家を支援することを目的とした資金。
JA八戸	農家経営安定化資金	天候不順，災害等による農畜産物の価格低迷で収入が減少し，仮渡金の精算や生産資材等の支払いに必要な資金，および次年度の再生産のため必要となる資金。

# JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク青森では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク青森を通じて、平成22年度には県内の小学校332校へ、14,551セットが配布され、学校の授業等において活用されています。



教材「農業とわたしたちの暮らし」表紙

- 県内のJAでは、食農教育などの実践活動が取組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。平成22年度は青森県農業協同組合中央会、JAの取組みに対して、3,021千円の助成が行われました。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容】

JA名	取組み	内 容
青森県農業協同組合中央会	農業と食料の大切さを学ぶためのバケツ稲づくり	県内65校に種もみ・肥料セットの一部費用助成。
	農業ふれあい教室と作文コンクール協賛	県内JA女性部が県下の小学生を対象に農業体験および料理教室を実施。これらの活動にかかる作文コンクールの開催と表彰。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容】

JA名	取組み	内 容
JAつがる弘前	いのちと自然の大切さを育む後援会	地元小学生と児童センターによる学校田や学童農園およびバケツ稲づくりで使用する教育情報誌「ちゃぐりん」の寄贈。
	農業塾	大豆、枝豆、野菜の植付け、収穫、販売、加工、料理の開催。
	キッズあぐりスクール	野菜の植付け、収穫、料理、食の学習会の開催。
JA津軽みらい	バケツ稲作体験学習	管内2小学校の児童による稲作体験学習。
	わんぱくキッズ・わんぱく農園事業	・さつまいもの苗植え、草取り、収穫作業。 ・料理実習、図画、作文、壁新聞の制作。
	食と農の学習	教育情報誌「ちゃぐりん」を配布し、食べものや農業の大切さを学び、地域のJAを理解する。
JA十和田おいらせ	稲作体験スクール	管内小学生による稲作栽培の体験スクール。
JAおいらせ	野菜の植付け、収穫体験および料理教室、ちゃぐりんフェスタ	管内小学生による野菜の植付け、収穫体験。地元農産物を使った食育料理講習会と収穫体験。